36　能登半島（のとはんとう）

（石川県七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）

注目　ポイント　！

○　能登空港を核とした地域全体の連携により、国際的な観光地へ。

○　行政、関係機関、地域住民が協働して豊かな観光の舞台づくり。

台湾人宿泊客数が約5,500人から約15,000人に！
（平成8年）　　（平成17年）

国指定名勝　「白米の千枚田」

◇◇　コラム　◇◇

小田氏は、国内でもいち早く台湾からの旅行者誘致を成功に導き、地域の活性化に大きく貢献した。また旅館業を観光産業の核と位置づけ、時代と共に変化する旅行ニーズに応じた地域づくりと観光業の発展のため、広域的な連携で観光づくりを推進した。

観光カリスマ
（株）加賀屋　会長
小田　禎彦氏

これまでの経緯

昭和５８年（１９８３）	飯田燈籠山祭りの燈籠山が復活する。
平成　８年（１９９６）	台湾からの誘客に乗り出す。
	飯田燈籠山祭りが珠洲市無形民俗文化財に指定される。
平成１４年（２００２）	能登半島広域観光協会が発足（前身：能登半島観光協会）する。
	小田禎彦氏が能登半島広域観光協会理事長に就任する。
平成１５年（２００３）	能登空港が開港する。能登空港ふるさとタクシーの運行を開始する。
平成１６年（２００４）	能登空港に台湾チャーター便を誘致する。
平成１７年（２００５）	能登空港と佐渡空港との試験運航（3往復）を実施する。
	台北国際旅行博（ITF）へ能登半島をPRするブースを出展する。
	台湾人観光客受け入れ教育講座を実施する。

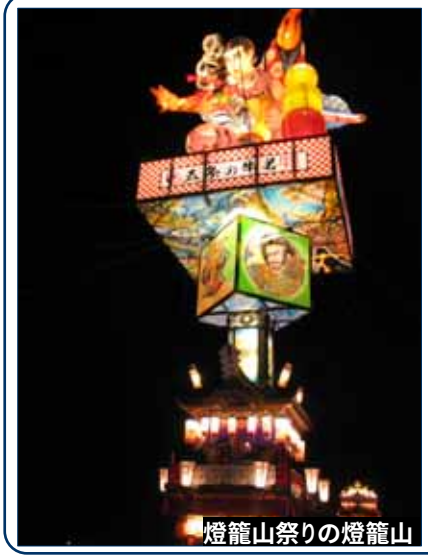
※当該地域は「わたしの旅１００選」（平成１７年）の大賞・特別賞として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

台湾人観光客受け入れ教育講座の実施

能登空港台湾チャーター便就航を契機に、観光カリスマ小田氏が中心となって、接客レベルの向上と質の高いサービス提供を目的とした受け入れ教育講座を、能登半島の宿泊事業者や物産販売事業者を集めて実施。また、物産販売事業者が協働で台北国際旅行博を会場としたニーズ調査を実施し、その成果を反映させたお土産販売を実施中。

能登空港（台湾チャーター便観光客）


燈籠山祭りの燈籠山

飯田燈籠山祭り(珠洲市)

江戸時代から始まった高さ16mにもなる燈籠山（とろやま）を引き回す飯田燈籠山祭りは、大正時代以降の電線架設により町内を曳き廻すことが出来なくなったが、町衆の強い願いと粘り強い取り組みにより、昭和58年に燈籠山1基が復活。

平成8年、飯田燈籠山祭りは珠洲市無形民俗文化財に指定されると共に、行政機関等の協力により、港地区から吾妻橋までの横架電線が取り除かれ、燈籠山の運行範囲が拡大。

能登を代表する祭りの一つに。

能登空港ふるさとタクシー

能登空港利用者に対する個別アクセス手段を県が中心となって検討し、低価格送迎、小規模移動手段（乗合タクシー）として運行。航空機利用者の2割が利用。

能登空港ふるさとタクシー

朝市・輪島地物市（輪島市）

明治以降、規制等で何度も存続が危ぶまれた朝市。その度に関係者が尽力し、継承が文化につながると、その大切さを伝え市を継続。現在では「日本三大朝市」に数えられる。

観光客で賑わう輪島地物市

問い合わせ先　○能登半島広域観光協会
Tel：0767－53－7767　http://www.notohantou.com/